



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 新電元工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6844 URL https://www.shindengen.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 吉憲
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 企画部長 (氏名) 松本 義明 TEL 03-3279-4431
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,288	△22.3	△1,954	—	△2,046	—	△4,994	—
2020年3月期第2四半期	45,431	△2.5	994	△66.2	991	△68.9	907	△61.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △5,072百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 658百万円 (△13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△484.71	—
2020年3月期第2四半期	88.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	126,819	47,504	37.5
2020年3月期	121,560	53,211	43.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 47,504百万円 2020年3月期 53,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,288	△17.9	△3,154	—	△3,146	—	△7,194	—	△698.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※連結業績予想の修正については、本日付けで公表いたしました「特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し、および2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	10,338,884株	2020年3月期	10,338,884株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	33,054株	2020年3月期	37,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,303,794株	2020年3月期2Q	10,300,728株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2020年11月13日（金）に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の解除に伴い経済活動が再開したことなどにより、少しずつ景気は持ち直してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症再拡大への警戒感は強く、予断を許さない状況です。海外においては、各国政府の規制が緩和されるに従い景気は底を打ち、最悪期は脱したものの、新規感染者の増加によって規制が再導入される地域もあり、限定的な回復にとどまりました。

当社は第15次中期経営計画で掲げる「持続的成長に向けた製品戦略の加速」の方針に沿って事業を展開しており、車載用電子部品の規格に準拠した製品のラインナップを拡充するなど取組みをすすめております。当社グループを取り巻く環境は、長期化している米中貿易摩擦にくわえ、モビリティ分野を中心に感染拡大の影響を大きく受け、非常に厳しい状況となりました。

このようななか、当第2四半期連結累計期間の売上高は35,288百万円（前年同期比22.3%減）、営業損失は1,954百万円（前年同期は994百万円の利益）、経常損失は2,046百万円（前年同期は991百万円の利益）、特別損失の計上や、グループ会社の繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,994百万円（前年同期は907百万円の利益）となりました。

なお、当社グループは市場環境の変動に左右されない収益構造を構築するために、開発・生産体制の見直しや不採算製品の整理、人員の適正化など事業構造改革を実施してまいります。

セグメントの業績は次のとおりであり、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

(デバイス事業)

デバイス事業の売上高は13,110百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失は672百万円（前年同期は52百万円の損失）となりました。

自動車市場は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生産調整により、大幅に減収となったほか、家電市場でも低調に推移しました。損益面においては、減収の影響が大きく損失拡大となりました。

(電装事業)

電装事業の売上高は18,069百万円（前年同期比29.3%減）、営業利益は295百万円（前年同期比90.8%減）となりました。

二輪向け製品は、インドではロックダウンにより製造子会社の操業停止が打撃となったほか、インドネシアやベトナム、タイでも生産調整などにより低迷しました。くわえて、四輪向け製品も低調だったため、事業全体で大きく減収となりました。損益面においては、減収および操業停止の影響などで減益となりました。

(その他)

その他の売上高は4,108百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は98百万円（前年同期は298百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は126,819百万円（前期末比5,259百万円増）となりました。これは、主に現金及び預金や建設仮勘定が増加したことなどによるものであります。

また、負債は79,315百万円（前期末比10,966百万円増）となりました。これは、主に短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は47,504百万円（前期末比5,707百万円減）となり、自己資本比率は37.5%となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は4,609円50銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月13日の「2021年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日付けで公表いたしました「特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し、および2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

国際会計基準（IFRS）の適用については、同基準の理解・習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しており、それらの内容を踏まえつつ、国内外の諸情勢を考慮の上、適用の可能性や時期等を検討してまいります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,337	34,112
受取手形及び売掛金	18,957	13,760
商品及び製品	7,638	9,625
仕掛品	4,559	4,956
原材料及び貯蔵品	11,184	12,682
その他	4,836	3,336
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	73,494	78,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,045	6,408
機械装置及び運搬具（純額）	9,948	8,961
土地	5,372	5,242
リース資産（純額）	1,102	964
建設仮勘定	5,326	9,101
その他（純額）	1,594	1,783
有形固定資産合計	31,388	32,461
無形固定資産		
ソフトウェア	819	744
リース資産	19	16
その他	449	285
無形固定資産合計	1,287	1,046
投資その他の資産		
投資有価証券	12,455	13,321
繰延税金資産	2,137	761
その他	843	819
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	15,388	14,854
固定資産合計	48,065	48,362
資産合計	121,560	126,819

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,094	11,202
短期借入金	4,525	22,125
1年内償還予定の社債	1,475	1,575
リース債務	336	346
未払法人税等	150	81
賞与引当金	931	795
その他	5,917	7,489
流動負債合計	29,429	43,615
固定負債		
社債	4,825	4,050
長期借入金	15,200	12,875
リース債務	873	890
繰延税金負債	777	880
退職給付に係る負債	14,781	14,672
製品保証引当金	2,276	2,143
資産除去債務	140	140
その他	44	46
固定負債合計	38,918	35,699
負債合計	68,348	79,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,823	17,823
資本剰余金	7,738	7,731
利益剰余金	30,251	24,613
自己株式	△137	△122
株主資本合計	55,675	50,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	1,421
為替換算調整勘定	△1,759	△2,593
退職給付に係る調整累計額	△1,496	△1,370
その他の包括利益累計額合計	△2,463	△2,541
純資産合計	53,211	47,504
負債純資産合計	121,560	126,819

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	45,431	35,288
売上原価	38,159	31,481
売上総利益	7,272	3,807
販売費及び一般管理費	6,278	5,762
営業利益又は営業損失（△）	994	△1,954
営業外収益		
受取利息	70	42
受取配当金	196	162
持分法による投資利益	147	—
受取ロイヤリティー	19	15
助成金収入	—	94
その他	74	64
営業外収益合計	509	379
営業外費用		
支払利息	92	107
為替差損	294	227
持分法による投資損失	—	16
その他	126	120
営業外費用合計	513	472
経常利益又は経常損失（△）	991	△2,046
特別損失		
減損損失	9	1,357
新型コロナウイルス感染症による損失	—	148
特別損失合計	9	1,506
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	982	△3,553
法人税、住民税及び事業税	581	266
法人税等調整額	△506	1,175
法人税等合計	75	1,441
四半期純利益又は四半期純損失（△）	907	△4,994
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	907	△4,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	629
為替換算調整勘定	△265	△820
退職給付に係る調整額	119	126
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	△13
その他の包括利益合計	△248	△77
四半期包括利益	658	△5,072
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	658	△5,072
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、当社グループの主力であるモビリティ分野の需要が大きく落ち込んでおります。

このような中、当社グループは各種経済予測等を踏まえ、今後、当該影響が概ね2020年度末頃まで継続するものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注) 3
	デバイス 事業	電装事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,447	25,573	41,021	4,410	45,431	—	45,431
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,144	1	3,146	—	3,146	△3,146	—
計	18,591	25,575	44,167	4,410	48,578	△3,146	45,431
セグメント利益又は 損失 (△)	△52	3,219	3,166	△298	2,867	△1,873	994

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エネルギーシステム事業及びソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,873百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注) 3
	デバイス 事業	電装事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,110	18,069	31,180	4,108	35,288	—	35,288
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,173	0	2,173	—	2,173	△2,173	—
計	15,283	18,070	33,354	4,108	37,462	△2,173	35,288
セグメント利益又は 損失(△)	△672	295	△376	98	△278	△1,676	△1,954

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エネルギーシステム事業及びソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,676百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。